



2022年 10月 第123号

産業文化通信

JCI産業文化協同組合 技能実習生受入事業部発行

東京都千代田区神田鍛冶町 3-6-7 6階

電話：03-3525-4838



地球温暖化の影響下、今年は大型の台風発生が例年よりも多いように感じます。今後は地震や津波以外にも、水害が発生した際の備えや避難場所等の確認が必要となって来そうです。

JCI産業文化協同組合は、お陰様で2009年9月の設立以来、満13年を迎えました。まだまだ成長途中の組合ではございますが、今後とも皆様にご協力頂きながら、企業様にとっても、実習生にとっても、より良い環境を整えて参りたいと思います。

実習生の失踪が増加しています

組合全体での年間失踪者数は、2020年：5名 2021年：7名でした。今年2022年は、9月末現在で既に14名の失踪が発生しており、その内10名が2022年3月に入国が再開された後入国したばかりの実習生です。実習生失踪の原因は色々考えられますが、（実習生の失踪が発生すると、外国人技能実習機構には、まず受入れ企業での給与支払いや実習生への待遇が適切であったかを調査されます…。）

今まで失踪が発生していなかった受入れ企業で、新たに失踪が発生してしまっている事を考えると、受入れ企業側の要因よりも、円安・コロナ禍での母国待機期間の長期化・リモート授業による送出機関の教育能力低下・新規入国者をねらった不法就労斡旋などの原因も考えられます。特に群馬県や茨城県東京などは、不法滞在者・不法就労者も多く、SNS上では簡単にそういった人達と連絡する事も可能です。

組合では、入国後講習で失踪のデメリットや危険性を説明する時間を設けていますが、今後さらに実際にあった犯罪やトラブル等の事例を紹介する形で、実習生に失踪＝犯罪であるという認識を持ってもらうよう、教育を強化してまいります。

日本入国の水際対策の変更点について

2022年10月11日から、新たな水際対策措置が適用されます。実習生に関連する変更点は以下の通りです。

- ① 外国人新規入国制限の見直し：新規入国時に受入れ責任者が申請する入国者健康確認システム（ERFS）が不要となります。
- ② 入国者総数管理の見直し：1日当たりの入国者上限人数が撤廃されます。
- ③ 国ごとの色分け（赤・黄・青）の撤廃、どの国から入国する場合も、以下のルールとなります。
 - ・ワクチン3回接種済み（WHO指定ワクチンに限る）：入国前PCR検査無・入国後隔離なし
 - ・ワクチン3回未接種：出国72時間前にPCR検査を実施し、陰性の場合隔離なし。

※今まで、ベトナムからの新規入国者は、ワクチン接種状況によって、入国後隔離が必要でしたが、今回の改正により、ベトナムからの入国実習生も全員隔離が不要となりました。